

画像病理連関に基づく異所性妊娠に特異的な MRI 所見の探索的研究

2015 年 1 月から 2022 年 12 月までに異所性妊娠のために手術された患者さんのうち、術前に造影 MRI を撮像されている方が対象です。

研究協力をお願い

当科では「画像病理連関に基づく異所性妊娠に特異的な MRI 所見の探索的研究」という研究を行います。この研究は、2015 年 1 月 1 日より 2022 年 12 月 31 日までに日本医科大学武蔵小杉病院放射線科で、異所性妊娠のために手術を受けられた患者さんのうち、術前に造影剤を用いた MRI を撮像された方を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：画像病理連関に基づく異所性妊娠に特異的な MRI 所見の探索的研究

研究期間：倫理委員会実施許可日～2024 年 3 月 31 日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 放射線科 山根彩

(2) 研究の意義、目的について

異所性妊娠は治療が遅れると死に至る可能性のある妊娠初期における重要な救急疾患です。異所性妊娠の診断は経膈超音波や血液検査によって行われますが、十分とは言えません。それを補完するために、最近では異所性妊娠が疑われる患者さんに対し、造影剤を用いた MRI 検査をすることが多くなってきています。異所性妊娠の治療法は手術や薬物療法、待機療法があり、患者さんの症状や血液検査などによって選択されます。しかし手術は患者さんへの負担も大きく、子宮や卵管といった女性の生殖機能に影響を及ぼす可能性があり、手術前の正確な診断が必要です。世界的に見ても、異所性妊娠を造影 MRI を用いて診断する研究は少なく、十分な検討がなされているとは言えません。そのため、本研究では術前に撮像された造影 MRI 画像と手術によって得られた病理検体を詳細に対比することで、今後の診断において役に立つ MRI 画像所見や MRI 撮像プロトコルを明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2015 年 1 月 1 日より 2022 年 12 月 31 日までに日本医科大学武蔵小杉病院にて、異所性妊娠のために手術を受けられた患者さんの術前に撮像された MRI 画像と手術で得られた病理検体との対比を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：造影 MRI 画像、血液検査、手術時に切除した組織

情報：年齢、既往歴

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 放射線科 助教 山根彩

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町 1-383

電話番号：044-733-5181（代表） 内線：3334

メールアドレス : aya0729@nms.ac.jp